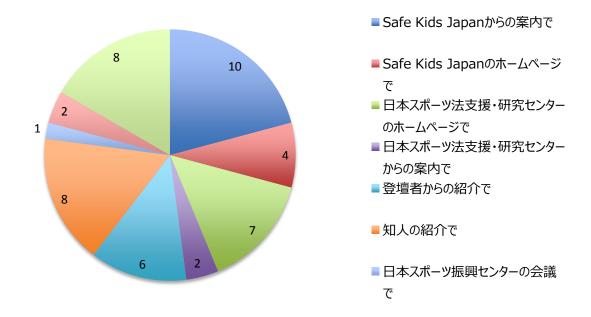
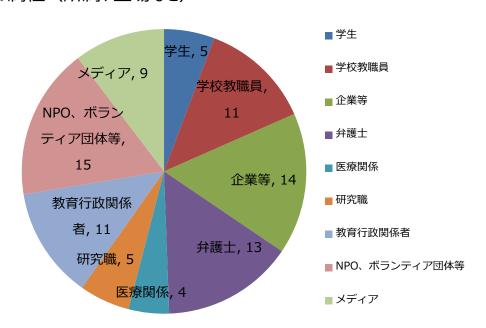
2017年8月27日開催

シンポジウム 「これで防げる 学校体育・スポーツ事故」 アンケート集計結果

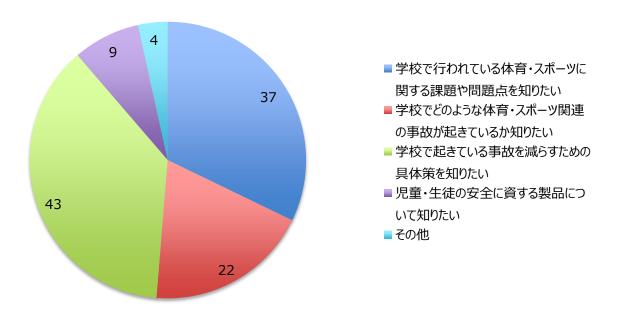
このシンポジウムが開催されることを知ったきっかけ (複数回答あり)



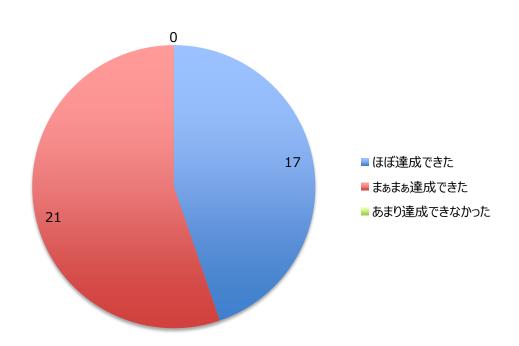
参加者の属性(所属、立場など)



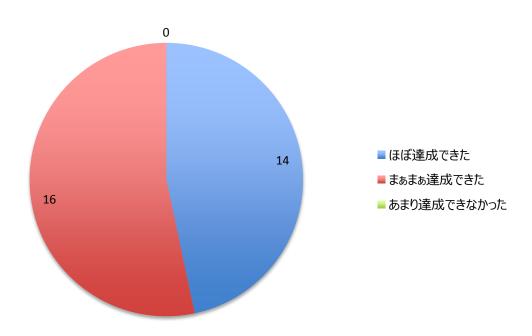
1) このシンポジウムに参加した目的(複数回答あり)



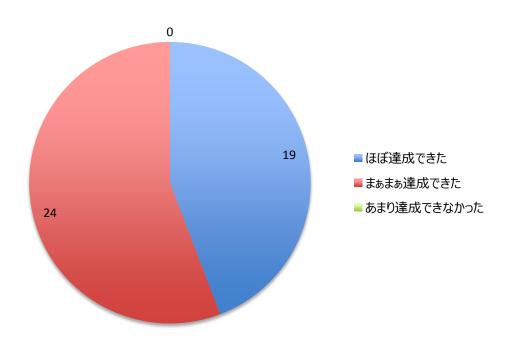
2)目的「学校で行われている体育・スポーツに関する課題や問題点を知りたい」の達成度



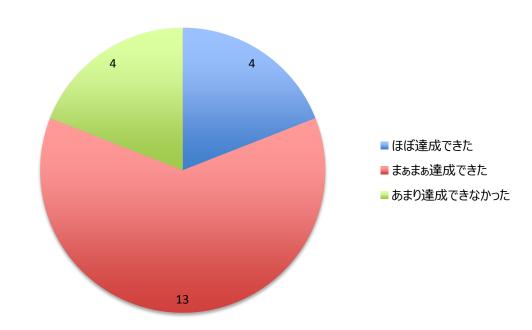
3)目的「学校でどのような体育・スポーツ関連の事故が起きているか知りたい」の達成度



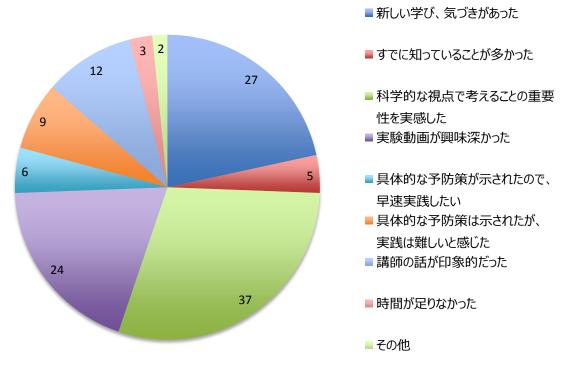
4)目的「学校で起きている事故を減らすための具体策を知りたい」の達成度



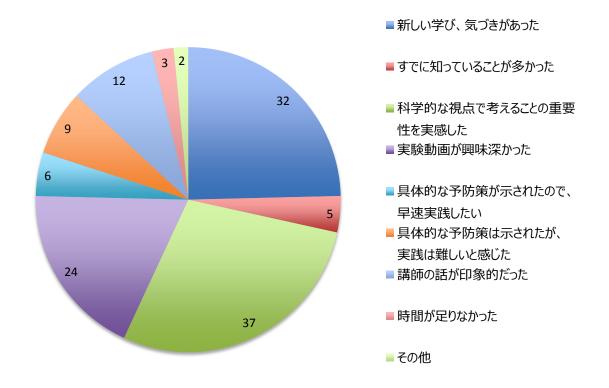
5)目的「児童・生徒の安全に資する製品について知りたい」の達成度



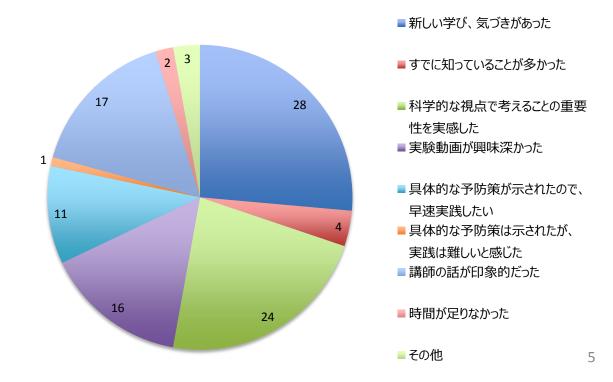
6) サッカー・ハンドボール コール転倒事故のメカニスムと予防のための提言について



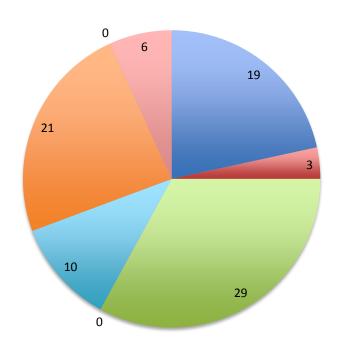
7)組立体操(タワー、ヒラミット)事故のメカニスムと予防のための提言について



8) ムカテ競走事故のメカニズムと予防のための提言について



9) ディスカッションについて



- ■参加者との双方向性があった
- 参加者との双方向性はあまりな かった
- いろいろな意見を聞くことができ、参考になった
- いろいろな意見を聞くことはできたが、あまり参考にならなかった
- 参加者相互のワークもしてみたかった
- 意見や感想を壁に貼るアイデアは よかった
- 意見や感想は壁に貼るより直接 発表した方がよかった
- ■その他

10) 今後取り上げたいテーマや検討したい事象など

| ■教員自身が体験する機会があると変わるのかと思いました。 看護師として怪我をした生 |
|---|
| 徒と関わりますが、学校によって反応の差が大きいです。こどもを中心に考えて、教員も |
| ゆとりある関わりができるように内容を見直してほしいです。 |

- ■学校体育事故の原因プロセス分析
- ■プール事故
- ■プール事故、水の事故
- ■学校としての安全管理の実践
- ■任意参加のもの(部活動)と強制参加の体育祭での違いから、なぜ事故の多いものをやり続けるのか。やりたくない少数派の意見の保護をいかにするのかを考えるというのも重要ではないかと思います(もしくは楽しくさせるかという手法でもいいのかなと思います)
- ■勤務校では今年、棒引きと騎馬戦でけが人が出たのでこれらについても研究をされて いる先生がいたらお話を聞きたいです
- ■例示された以外の学校での事故に関するもの
- ■器械運動(跳び箱)、陸上競技(ハードル)
- ■熱中症事故の事例検討
- ■水の事故、誤飲など
- 園や学校での事故予防を、家庭(保護者)と共有するために必要な情報や事例を 知りたいです。
- ■教員の事故
- ■スポーツ教育の重要性と大学生や新規採用の若い層に求められる資質能力について

- ■学校体育でのスポーツ競争の在り方への工夫を。
- ■学校におけるプールの管理について
- ■今回は3つのテーマに絞られていましたが、より広く、学校関連のスポーツや運動会競技などでどのような事故が多く、どのような対策が有効かについて知りたいです。
- ■部活動における事故の予防と初動対処
- ■運動会のテントの飛散事故
- ■いまだに続くマラソン大会について
- ■バレー支柱事故のメカニズムと予防のための提言

11) このシンポジウム全体を通しての意見や感想

- ■わかりやすくて勉強になりました
- ■原因検証と提言の組み合わせは、社会に問題を具体的に提出するものです。なぜこの様な事故が起こるのかを探求することも加えるとさらに安全が確保されるようになるとおもいます。
- ■他分野の団体が参加していたことが本当に素晴らしいと感じました。
- ■大変勉強になりました。これからも続けて頂きたいです。
- ■改めて安全対策の重要さを実感しました。
- 非常に有意義な時間でした。学校体育というのは、多少嫌なことでも経験をしてみて新しい発見があったりすることに意義があるため、なくせばいいというものではないと思います。ただ、普通の勉強でも嫌なことをさせるという意味では共通しているのですが、そこに怪我等のリスクが伴うことで、同じ議論ができないという点が難しいところです。事故は可能な限り0に近づける必要があるので、私も少なからず学んだことを周りに伝えていきたいと思いました。
- ■体育科教員向けの研修を自治体や東京と文科省は必須研修として行うべきだと思います。私は養護教諭をしていますが、ある程度経験を積んだ体育科の先生は事故防止についてはなかなか関心が無いように思います。
- ■パワポや、日体大の動画などが再び観られるとたいへんうれしいです。
- ■良き学びになりました。ありがとうございました。
- ■引き続きこのテーマを掘り下げ、更にさまざまな競技種目についての発表に期待する
- ■生徒さんを使って実験するなどなかなかできることではないので、今回のように、知ることができとてもいい機会をいただいたと思っています。
- ■科学的知見に基づいた提言は説得力がありました。もっと多くの学校関係者(特に学校事故を担当している、教育委員会指導課や保健体育の指導主事等)が参加すると、学校に周知ができるかと思いました。

最後の望月弁護士のお話は、学校関係者には非常に厳しい言葉でした。それだけ、 危機管理意識をもって、教育委員会も現場も学校事故を防がねばならないと感じました。

- ■ケガや事故があると短絡的に中止、廃止となる傾向の中、運動会やスポーツの楽しみ と安全を考える提言はとても重要と感じました。
- ■貴重な場に参加させて頂き有難うございました。提言はどれも興味深い内容でした。 今後社会での共有の仕方の成功例が有りましたらお話を伺いたいです。
- ■今回来ていたのは管理職級の教員や法律の専門家、研究者などが大半であったが、教育の中における運動という項目はそれ以外の多くの保護者やOB・OGなどの一般人の認識から変えていかなければならない問題である。組体操やムカデをあげても、見た目が迫力がなくなったことを不満に思う人が出ることは当たり前だと思う。それは自分たちが危険なことを過去に成功させたという記憶があるからである。しかし危険なこと、怪我を防ぐため必要なことを一般人にも周知させていかなければならない。今後もこのような活動を進めていく上で、さらにメディアへの露出、宣伝を行い多くの人に研究の成果を見てもらえるような活動をしていくことが望ましいと私は感じる。
- ■シンポジスト、参加者の熱意に快い疲れを覚えました。
- ■科学的視点からの分析、対策が示されて、大変勉強になりました。今後、今回の事例に限らず、より広く学校関連の事故の原因や対策について、現場にどのように周知・ 徹底するのかの方策をご検討いただきたいです。
- サッカーゴールの事故について、具体的な調査が既になされていて、あとはどれだけ現場 に伝わるか、そして、対策が実現できるか、ですね。
- ■学校現場にこうした情報を伝え、子供の安全を守るという意識をいかに持ってもらえる かが今後の課題だと思います。
- ■事故は未然に防げる事が解った
- ■組み体操の動画がとても素晴らしいと感じました。研究の成果をこのような形で、具体的にビジュアルで示してもらえると説得性が高まると感じました。私の子どものクラスにも、あまり運動が得意でないお子様がいて、運動会の日が来るのを嫌がっていると聞いたことがありますが、この動画の方法であれば、運動能力に応じて誰にでも役割を与えることができるので大変有効だと感じました。

- ■スポーツ庁・JSCの方の参加、地方での開催等も検討していただきたい。
- ■組立体操(ピラミッド)で腕をクロスするのは高く立てるためのテクニックであり安全のための工夫ではない。転倒させないテクニックも大事だが、転倒の際の障害度合いを重篤化させるテクニックはNG、たとえ3段であっても骨折の危険度が高い(ぜひ力学的な検証をして下さい)。当日配布のテキストにクロスすることは奨励されいていないので作成者間でも協議があったものと推測するが、当日には発表があり、しかもNHKではこれを改善策のように報道されていることは疑問が残る。
- ■貴重な時間をありがとうございました。